

城北中学校区における小中一貫教育の取組(平成 28 年度)

城北中学校区地域支援協議会

地域支援協議会は、健やかな子どもの成長と育成を願って、中学校区の現状と課題解決に向けた支援を行う団体です。

花壇の整備

城北中学校「夢プロジェクト」のアサギマダラを呼ぶ取組において、「すべてはここから始まった」と言われる城北中学校の中庭にある花壇の整備を行いました。
地域支援本部の会員と工業部・野球部・ソフトボール部・バスケットボール部の有志が力を合わせて、花壇の周囲のブロックを新しいものに取り替えました。
(平成 29 年 3 月 25 日、城北中学校)



決算総会

決算総会が開催されました。本年度の活動のまとめを行った後、各小学校区に分かれ、来年度へ向けての協議が持たれました。
(平成 29 年 3 月 4 日、城北中学校)



城北中学校生徒会とともに「まいづる環境市民賞」受賞

城北中学校「夢プロジェクト」で 2011 年から取り組んでいるアサギマダラをよぶフジバカマ栽培の取組が評価され、この度、第 1 回「まいづる環境市民賞」を城北中学校生徒会と城北中学校区地域支援協議会が受賞しました。

授賞式後、乾燥したフジバカマを来場者に配布し、取組への関心を広げました。

(平成 28 年 11 月 13 日、市政記念館)



アサギマダラ観察会

5 月から中学校区の学校や公園などの各所でフジバカマの植え付けを行い、夏も地域の支援員の方々や子ども達の水やりなどの世話で多くの花を咲かせました。

その香りに誘われて、9 月 15 日頃から城北中学校や余内小学校を始め、旧青井小学校や四所駅、天台公園、市役所など、各所でアサギマダラの飛来が確認されました。

この飛来の時期に合わせて、アサギマダラにマーキングを行う観察会を行いました。

(平成 28 年 9 月 25 日、旧青井小学校)



フジバカマの植栽整備

秋のアサギマダラの飛来を前に、城北中学校区の公園や学校など色々なところでフジバカマが育っています。

9月に入って余内小学校区の福来中西公園や天台公園、聖母の小さな学校で、城北中学校の工業部の生徒や公園整備の呼びかけに応えた余内小学校の児童、そして、夏の間、地域で水やりを心配ってくださった地域支援協議会の支援員さんと小中学校の教員で草抜きなどの整備を行いました。

(平成 28 年 9 月 3 日)



総会が開催されました

城北中学校の参観日に合わせて、中学校区地域支援協議会の総会が開催されました。

約 50 名の会員が参加し、本年度名称変更をし「城北中学校」から「中学校区」として新たに取り組みがスタートしました。

大泉邦暉会長のあいさつの中にも校区小学校とも共に活動することが話され、全体会の後、小学校区に分かれて各小学校教頭先生も参加して活動内容について検討がなされました。各校区、前向きなお話が進んでいました。

今年からは、小学校も参加して取り組みが進むことが期待されます。

(平成 28 年 4 月 29 日)



第2回総会(今年度のまとめと次年度の方向確認)

城北中学校区の小・中学校教員が集まり、中学校の授業参観と協議会の総会を行いました。授業参観では、小学校教員が中学校の授業や集中して学ぶ中学生の姿に小学校とのつながりを実感しました。

総会では、この1年間、小中一貫教育モデル校区として実践してきた取組を振り返り、活動のまとめや次年度の計画などを校区すべての教員で確認しました。

4月には、一貫教育を体験した小学6年生が中学校に入学します。

安定した中学校生活へのスムーズな移行と児童生徒の育ちが期待されます。

(平成29年2月2日、城北中学校)



授業研究会「小・中学校の先生が共に学び合いました」

城北中学校と校区4小学校の先生が集まり、6年生の授業を通して小学校と中学校の学びのつながりを研究しました。余内小学校では国語「やまなし」、福井小学校では算数「場合を順序よく整理して」、明倫小学校では理科「水よう液の性質」の授業を参観しました。

事後の研究会では小・中の先生が1つのテーブルを囲み、小・中の学びの連続性と児童生徒への指導について深めました。

(平成28年11月29日、余内・福井・明倫小学校)



夏期全員研修を行いました

城北中学校区小中 5 校を始め、市内で小中一貫教育について研修を希望する教職員約 120 名が文化情報センターの会議室に集まりました。

(平成 28 年 8 月 23 日、文化情報センター)

第 1 部

京丹後市教育委員会の小中一貫教育学園コーディネーターである松田正則先生を講師に招き、「峰山学園における小中一貫教育～コーディネーターから見たその成果と課題～」と題した講演を聴きました。

その中で、平成 26 年度から小中一貫教育を導入している峰山学園での不登校や問題事象、学力充実などの中 1 ギャップ解消の成果と共に、具体的な実践を伺いました。

歩み始めたばかりの舞鶴市の小中一貫教育に希望の光としっかりした足跡を見せていただきました。



第 2 部

11 月に開催する小中が連携した授業研究会に向け、国語、算数・数学、理科の 3 部で教材研究などの部会を持ちました。各教科の中学校教員と 4 校の小学校教員と一緒に 1 つの教材を通して学びのつながりを大切に研究を進めました。各教科の特色に基づいた学びや教材について小・中学校が共に深めることができ、11 月の授業研究会が楽しみになりました。

総会が開催されました

城北中学校に校区 4 小学校の教職員が集まり、中学校の全学級の授業を参観し、中学校での落ち着いた学習の様子を確認しました。その後、総会では中学校の先生方を含め 5 校の先生方が一堂に会して、今年度モデル校区として推進する内容の確認を行い、また、義務教育の出口となる高校選抜について進路担当者から話を聞きました。

全体会の後、4 部会(学力充実部・生徒指導部・教育相談部・児童生徒交流部)・小学校学年部会(4 小学校同一学年交流)で具体的な取組が確認されました。1 年の活動の見通しが持てた総会となりました。

(平成 28 年 5 月 9 日、城北中学校)



児童生徒の交流(小中連携)

将来、同じ中学校へ進学することになる児童同士が、中学校で共に活動し、交流を深めることで、中学校の環境や雰囲気慣れ、入学後の学校生活がより一層充実するための取組です。

小学6年生体験入学

城北中学校区の4小学校(余内小・福井小・明倫小・吉原小)の6年生146人が4月からの中学校生活に向け、体験入学を実施しました。

まず、体育館で生徒会本部から中学校の生活について説明を聞きました。

次に、各校混合で4グループ(36~37人)に分かれ、各教室で初めての中学校給食を食べました。その後、数学の授業(50分授業)を中学校の先生から受けました。

授業後、ショートホームルームでゲームをして他校の友達との交流を深めました。

(平成29年1月26日、城北中学校)



情報モラル行動宣言、城北中生徒会が校区4小学校へ伝えました

城北中学校と校区4小学校で情報モラルについて学習し、各学年で情報モラル標語を作りました。小学1年生から中学3年生まで学年代表の標語を選出し、それらをまとめて中学校生徒会が「行動宣言」を11月16日に生徒集会で決定しました。

それらを持って中学校生徒会役員が各小学校へ出向き、城北中学校区児童生徒の「情報モラル行動宣言」として一緒に取り組んでいくように小学生に伝えました。

(平成28年11月16日、城北中学校生徒集会)

(平成28年11月30日、吉原・福井小学校)



城北祭に6年生参加

城北中学校で開かれた文化祭(城北祭)の舞台発表で中学校区4小学校の6年生が合唱を披露し、その後中学3年生の学年合唱・学級合唱を鑑賞しました。

6年生の発表曲は「カントリーロード～君をのせて」のメドレー曲でした。専科の音楽の学習指導により、4校の児童が心をひとつにすることができました。

中学3年生の学年発表を6年生が鑑賞し、中学生の姿に見入っていました。

(平成28年11月5日、城北中学校)



中学校部活動体験

城北中学校区の4小学校の6年生が、中学校の部活動体験に参加しました。

体験を希望する部で、城北中学校の生徒と一緒に活動しました。

中学生がとても先輩らしく、しっかりと活動を紹介しました。

(平成28年10月15日、城北中学校)



城北中学校区マークコンテストの呼びかけ

今年度から始まった小中一貫教育に合わせて「城北中学校区のシンボルマークを自分たちで作ろう」と、城北中学校生徒会役員が校区の4小学校を訪問し、その意義とマーク応募についての説明をしました。この日は福井小学校を訪れ、中学校の生徒会長がたくさん応募してくれるよう呼びかけました。

また、城北中学校工業部が作ったアルミ缶回収ボックスも届けました。

中学生の描いたかわいい絵に、毎週金曜日のアルミ缶回収が楽しみになりそうです。

(平成28年7月13日、福井小学校)



小学生の交流(小小連携)

中学校区内の小学校同学年児童と一緒に学習活動を行うことで、小学校の時から互いの存在を友達として認め、つながります。

中学校での出会いも、スムーズに行くことを目指しています。

特別支援学級交流「ちくわ作り体験」

城北中学校と4小学校の支援学級の児童生徒18人が、先生方と共に舞鶴かまぼこ協同組合でちくわと平てん作りを体験しました。

苦心して成形した焼きたてのちくわと四角やハート型の揚げたて天ぷらをおかずにみんなで昼食も楽しみました。その後、自己紹介や歌・ゲームで楽しく交流をしました。

(平成28年11月21日、舞鶴かまぼこ協同組合)



5年夢実現講演会

校区の4小学校の5年生130人が余内小学校の体育館に集まりました。

まず、5年生で4小学校が集まることは初めてなので、写真を交えながら各校の学校紹介をしました。

その後、明倫小学校・城北中学校の先輩でアテネオリンピックに出場した京都府立東舞鶴高等学校教諭山口有希先生から「夢実現講演」をお聴きしました。

陸上選手として五輪出場という夢を実現するためのこれまでのお話を伺い、「夢を持つ」「夢を叶えるための目標を立てる」「目標に向かって今を全力でがんばる」ことを教えていただきました。その後、合唱やゲームをして交流しました。

(平成28年11月15日、余内小学校)



1年みんなで一緒に秋みつけ

城北中学校区の4小学校(余内小・福井小・明倫小・吉原小)の1年生130人がそろって、神崎の浜で秋みつけをしました。

まず、旧神崎小学校で集合。6つの班に分かれてデカパンリレーなどをして、他校の友達と手をつないで声を掛け合いゲームを楽しみました。

次に、仲良くなった友達と歩いて海岸に移動し、松ぼっくりをたくさん見つけました。生活科の学習で使うことを楽しみにしていました。(平成28年10月24日、神崎地区)



3年アサギマダラの学習

城北中学校区の4小学校(余内小・福井小・明倫小・吉原小)の3年生146名が旧青井小学校に集合して、アサギマダラの学習と観察、交流会を行いました。

旧青井小学校グラウンドには、城北中学校区地域支援協議会の皆様のご協力で作られた広い花壇に、城北中学校の生徒と福井小学校の児童と地域支援の皆様で植えたフジバカマが真っ白に花を咲かせています。

その香りに誘われて、その日はアサギマダラが7頭飛来しました。

児童は講師の話聞いた後、各校混合の6つのグループに分かれて、網を手に捕獲に挑戦しました。

体育館では、寄せ書きやゲームなどで交流を深めました。

(平成28年9月21日、旧青井小学校)



みんなの町を知ろう！2年生町たんけん発表交流会

城北中学校区の4小学校(余内・福井・明倫・吉原小学校)の2年生が、生活科「どきどきわくわくまちたんけん」で学習したそれぞれの校区探検で見つけたことを持ち寄り、明倫小学校の体育館で発表会を行いました。

インタビュー風に発表をしたり、お店で見つけたものを絵や作り物で表したりと工夫をして発表をしました。みんなよく互いの話を聞いて、感想交流も元気な声で発表していました。その後、3択クイズをしたり「じゃんけん列車」や「猛獣狩りに行こうよ」のゲームをしたりして、他校の友達を作ることができました。



(平成28年9月14日、明倫小学校)



クリーン大作戦ふるさと大好き4年生

4年生は、社会科学習「住みよいくらしをつくる」で、ごみのしまつと活用について学び、自分達にできることを学習してきました。

今回はその学習の一環で、各校からごみを拾いながら伊佐津川沿いを歩いて集まりました。他校の友達を見つけると手を振って、交流を楽しみに集まりました。

4校の4年生165名が持ち寄ったごみについて、ごみの種類や場所についても報告し合い、一緒に学びました。そのあと14のグループに分かれ、自己紹介をしたり話をしたりしながらお弁当を食べました。

(平成28年9月6日、伊佐津川河川敷)



地域と学校の交流

各校区敬老会

日頃、地域でお世話になっている皆さんに感謝の思いを伝えるため、各校地域の敬老会に参加しました。

明倫小学校 2 年生と 4 年生が歌と作文を西総合会館で、福井小学校 3 年生と青井地域の児童が旧青井小の校歌や作文などを旧青井小学校で発表しました。

城北中学校吹奏楽部が「時代劇メドレー」や「憧れのハワイ航路」などの演奏をしました。ご覧頂いた皆さんも手拍子をされたり歌を口ずさんだり、楽しいひと時でした。



(平成 28 年 9 月 24 日、旧青井小学校)



(平成 28 年 9 月 17 日、西総合会館)

アサギマダラ(蝶)を飛来させる取組

アサギマダラは春に南西諸島から本州・北海道へ北上し秋には南下して、何千 km もの距離を旅する蝶です。

城北中学校生徒会では、平成 23 年からアサギマダラが好み、京都府の絶滅寸前種に選定されているフジバカマを栽培し、アサギマダラをよぶ「夢プロジェクト」に取り組んでいます。平成 24 年からは城北中学校地域支援協議会の力もお借りし、地域へもフジバカマの栽培を広げてきました。

成果として、昨年秋にも城北中学校を始め校区の各所でアサギマダラが確認されています。今年度からは、小中一貫教育モデル校区の取組の一つとして本事業を継続し、小学生・中学生・地域の方々で力を合わせ、「夢プロジェクト」の取組を広げています。

フジバカマの植え付け

明倫小学校

明倫小学校の児童が、綾部市の八田中学校と物部小学校の方々と一緒に、城北中学校によるフジバカマの苗の贈呈式に参加しました。

苗を明倫小学校に持ち帰り、放課後、城北中学校の生徒と一緒に中庭に植え付けました。



これまで中庭でフジバカマを育てていましたが、今年は数を増やして、アサギマダラがたくさん飛んできてくれることを願って栽培します。(平成 28 年 7 月 4 日、明倫小学校)

福井小学校

福井小学校 3 年生と城北中学校工業クラブの皆さん、そして城北中学校区地域支援協議会でお世話になっている方においでいただき、プランターにフジバカマの苗を植え付けました。初めに、地域の方から教室でアサギマダラについてお話を伺い、中学生のお兄さんと一緒に植え付けをしました。

中学生が土運びをしたり植え方を小学生にやさしく教えたりしてくれたので、しっかり植えることができました。

福井小学校には、校舎北側に以前から育てているフジバカマも育てているのですが、今年は登下校時にもフジバカマを観察できるようにと、プランター4 個に新たに育てることにしました。秋に花が咲くまで 3 年生が水やりをしたり観察をしたりしていきます。

(平成 28 年 7 月 1 日、福井小学校)



余内小学校

余内小学校 3 年生の児童と城北中学校工業クラブの生徒、そして城北中学校区地域支援協議会の皆さんで、余内小学校の花壇にフジバカマの苗を植えました。地域の方と工業クラブが育てた苗を持ち寄り、3 年生の児童と一緒に植えました。昨年から花壇で育てているフジバカマとともに今回植え付けたことで、たくさんのアサギマダラが飛んでくるように子どもたちは楽しみにしています。(平成 28 年 6 月 20 日、余内小学校)



聖母の小さな学校

「聖母の小さな学校」にも城北中学校工業クラブの生徒が訪問し、当日登校していた生徒と一緒にフジバカマの苗を植えました。この春にも学校の農園にアサギマダラが飛来したとのこと、秋への期待が膨らみます。(平成 28 年 6 月 20 日、聖母の小さな学校)



余内地区

余内地区では、地域の身近な公園にフジバカマの植え付けをしました。地域の余内小学校の児童と城北中学校の野球部・剣道部の生徒、それに地域支援協議会の支援員さん(合計 20 名～27 名)が一緒になって、それぞれの場所で植え付けをしました。身近な場所にアサギマダラが飛来することを楽しみにしています。植え付けた場所は、天台公園・福来中西公園・昭和台公園です。今後、聖母の小さな学校にも植え付けをします。(平成 28 年 5 月 28 日、余内地区)



吉原小学校

吉原小学校 3 年生以上の児童、職員 32 名、城北中学校区地域支援協議会の会員 12 名で、校庭を見下ろす学校農園に集合しました。

会員の方に校区で大きく育てられた苗を持ってきていただき、植樹することができました。

地域には昨年アサギマダラが飛来したとのこと。今年は羽を休める裏山にも近いので、ぜひ学校にもアサギマダラがやってくることをみんな楽しみにしています。

(平成 28 年 5 月 25 日、吉原小学校)



旧青井小学校

土曜日の午前中、城北中学校男子バスケットクラブと工業クラブの生徒 19 名と福井小学校児童 23 名、そして城北中学校区地域支援協議会や関係者が集まり、総勢約 70 名で、城北中学校で育てたフジバカマの挿し木や苗を植え付けました。

昨年秋に、アサギマダラがこの地にたくさん飛来したことを受け、海辺の絶好の立地ということで今年は植え付け面積を今年の 5 倍くらいに増やしました。

今後の水やりなど地域の方々のご支援を受けてしっかり育ってくれることを願い、子どもたちの期待が膨らんでいます。

(平成 28 年 5 月 21 日、旧青井小学校)



四所駅

城北中学校「夢プロジェクト」の一環で、城北中学校区地域支援協議会の皆様や校区の小学校の児童の皆さんの協力を得て、フジバカマの植え付けが校区各所で始まりました。

松陰の並木稲荷、京都丹後鉄道四所駅、旧青井小学校、福来中西公園、昭和台公園、天台公園、聖母の小さな学校、そしてそれぞれの校区小学校にと、アサギマダラの飛来に向け、フジバカマをたくさん植えようと活動が進んでいます。

(平成 28 年 5 月 14 日、四所駅)



フジバカマ挿し木作り

城北中学校において、工業クラブが中心になってフジバカマの挿し木作りをしました。

この挿し木が、校区の各所に移植され、9 月には花を咲かせアサギマダラが飛来するのが楽しみです。

(平成 28 年 4 月 21 日、城北中学校)



保護者の交流

城北中学校区 PTA 合同人権講演会

昨年まで各校 PTA が独自に行っていた人権講演会を、今年是小中一貫を意識し、9 年間を見通して現状を捉えて同じ姿勢で子どもたちに対応できるようにと、合同で実施されました。

兵庫県情報セキュリティーサポーターの篠原嘉一氏を講師に招き、「子供たちのスマートフォンに潜む危険～その仕組みを知ることで防げる心の傷～」と題して、SNS で不特定多数とつながる危険性などを教えていただきました。

保護者と教員が同じ講演を聞き、情報社会に生きる子どもたちへの対応を一緒に理解することができました。保護者からは、子どもたちにも聞かせてほしいとのご意見も頂きました。

(平成 28 年 6 月 24 日、城北中学校)



乗り入れ授業～中学校の先生が小学校へ教えに行きます～

城北中学校区の4小学校(余内・福井・明倫・吉原)へ城北中学校の教員が訪問し、授業をしています。

理科

6年生の理科の学習に、城北中学校の理科教諭・永田先生が各小学校を訪問し、担任の先生とともに授業をしています。

明倫小学校

明倫小学校では、中学校の理科教員による乗り入れ授業と合わせて、6年生で社会と理科を一部教科担任とする学習が開始されました。

1組担任が理科を、2組担任が社会を担当します。

この日の授業は、6年2組で1組担任と中学校の理科担当と一緒に「ヒトや動物の体」の学習で、1分間に4リットルの血液を押し出す心臓の働きをポンプを使って体験しました。

中学校の教科担任制に向かう一歩として、児童も集中して学ぶことができました。

(平成28年5月31日、明倫小学校)



福井小学校

福井小学校では、全校集会で永田先生を紹介したあと、6年生の「ヒトや動物の体」の学習では、唾液によるデンプンの消化について実験しました。

(平成28年5月19日、福井小学校)



余内小学校

自分たちで酸素の中での線香やろうそくが燃える様子を実験で確かめた後、鉄(スチールウール)が酸素中で燃える様子を永田先生の実験で観察し、燃えた後の鉄の性質については中学2年の理科学習につながることを学びました。

(平成28年5月18日、余内小学校)



吉原小学校

「ものが燃えるとき」の学習では、物が燃えると気体に変化することを気体検知管を使って実験しました。

(平成28年5月6日、吉原小学校)



音楽科

5年生、6年生の音楽の学習に、城北中学校の音楽科教諭・市村先生が各小学校を訪問し、毎週音楽科の授業をしています。

専門性を活かした授業に、美しい楽しく歌声が響きます。

(平成28年4月19日)

